



校訓 考える学校

教育目標 すすんで学び 心身ともに健康で 思いやりのある人になる

校長挨拶

西東京市立明保中学校長

宮本 尚登



明 保中学校長の宮本尚登でございます。今年度は、感染症対策を徹底させながら、どのように教育活動を充実させていくか、「学校の工夫」が試される1年であると考えています。コロナ禍で何ができるか真剣に考え、新たな発想を取り入れながら教職員一同、努力してまいります。

子どもたちが大人になったとき、堂々と生きていけるよう子どもたちの可能性を伸ばしていきたいと考えています。授業、学校行事、部活動等で、生徒の可能性の芽を摘んでしまうことがないよう十分、気を付けていきます。

特に取り柄のない私は、「普通の子」あるいは「目立たない子」にこそ「活躍の場を設けること」が大切だと考えています。

以上のようなことを踏まえ、今年度の学校経営方針を以下のように決めました。

学校と保護者の皆様、地域の皆様と一緒に、子どもたちを大切に育てていく所存です。本年度も本校の教育活動にご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

(お詫び：今月の明保通信は、文字ばかりになってしまいました・・・。)

学校経営方針

○ 明保中の生徒に「自信」と「勇気」を身につけさせる。

- 生徒が互いに協力し合う活動、体験学習、生徒が達成感を得られる活動等を取り入れる。
- 生徒主体の活動を行い、目立たない生徒にも活躍の場を設ける。
- 全教育活動において、子どもたちの可能性の芽を摘まない。

○ 教育支援、教育相談の視点での生徒指導

- 行動の背景、支援の方向性を吟味した上で指導・支援を行う（見立てに基づく対応）。
- 生徒の意見を取り入れながら、生徒が自分たちの学校を大切にする心を育む。

○ 生徒の興味・関心を高める授業の実施

- 生徒の活動（考える・書く・伝える）を重視した授業を実践する。
- タブレットや視聴覚機器を効果的に活用した授業を実践する。

○ 学校と地域住民が協働した取組の推進

- 地域の力を取り入れた教育活動を実践する。
- 子どもの成長を「教職員」「保護者」「地域住民」が考え、協働した活動を実践する。

○ あたたかい雰囲気作り

- 校内であいさつ・笑顔が広がる雰囲気作りを行う。
- 教職員の丁寧であたたかい言葉遣いを徹底させる（呼び捨ての禁止、体罰・暴言の根絶）。
- 人権教育を推進する（LGBT への配慮等ダイバーシティの実現、個人情報管理の徹底）。